

令和7年8月第10回 松阪市教育委員会定例会会議録

令和7年8月25日（月）教育委員会室

報告事項

報告第34号 令和7年度7月児童生徒の問題行動等について

その他

1. 「みえ松阪マラソン」エントリー状況について
2. スポーツのチカラプロジェクト「夢の学校」
四十住さくら選手によるスケートボード教室について
3. MCC年間大賞2024」主催者部門
「みえ松阪マラソン」優秀賞受賞について

出席者

教育長	中 田 雅 喜
委員（教育長職務代理者）	松 江 茂
委員	安 岡 幹 根
委員	松 岡 曜 子
委員	川 端 有 美

出席事務局職員

事務局長	若 山 幸 則
事務局次長	熊 野 佳 幸
教育総務担当参事兼教育総務課長	西 浦 有 一
学校教育課長	三 田 篤
学校支援担当参事兼学校支援課長	脇 葉 敦
子ども支援研究センター所長	中 西 祐 司
スポーツ課長	吉 田 和 敏

傍聴者 0人

午後3時00分 開会

○教育長

ただいまから令和7年8月第10回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。
傍聴の申し出はございませんでしたので、ご報告申し上げます。
それでは、事項書に従い進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

報告第 34 号につきまして、事務局から説明願います。

(報告第 34 号 学校支援課長から説明)

(委員から「なし」の声)

(委員から「異議なし」の声)

異議なしと認めます。よって、報告第 34 号は承認いたしました。

(スポーツ課長から説明)

見学者についてはどのように考えていますか。

◎事務局

見学者の方につきましては、スケートパークのフェンスの外から見ていただこうと思います。

○教育長

定員が 30 名から 20 名に減った理由について教えてください。

◎事務局

当初 30 名と予定していたのですが、四十住さくら選手 1 人で 30 名見るのは時間が足りないということで、スケートができる方をもう 1 人呼びして 2 人で、20 名見ていただく予定です。

○教育長

ある程度の高さから何個かの技を行える人が対象というのは、どこかに書いてあるのですか。

◎事務局

募集をさせてもらうところに、応募条件の記載があります。松阪市総合運動公園スケートパークが一番高い所で 2.3 メートルもの高さで危険も伴うため、こういった条件を加えております。

○教育長

当初スケートボードを広げるための教室であったのが、プロ育成のような初心者だと参加できないスケートボード教室になってきています。これはスケートボード教室の趣旨が変わったのですか。

◎事務局

四十住さくら選手のスケートボード教室は当初初心者向けの教室を予定していたのですが、土木課の方でそういった教室は開かれており、いろんな所で開かれています。今回松阪にあるオリンピック並みの競技場が使用できることもあり、四十住選手の意向や第一生命さんとの協議により、このように対象を示させていただきました。

○教育長

それは行政が行うスポーツのチカラプロジェクト「夢の学校」と趣旨が違うと思います。スポーツのチカラプロジェクト「夢の学校」は、アスリートを育てるだけではなく、スポーツを通した人づくりまちづくりが目的です。多くの人にスケートボードに対する興味関心を持っていただきたいと思っております。安全面で、四十住選手・関係者と協議して指導プログラム上こういった能力は欲しいと思いますが、初心者の方も別途指導しますというようなイメージが必要だと思います。

◆委員

初心者の方に関しては、見学をしっかり受け入れますという記載があればいいと思います。オリンピックの金メダリストが来て、松阪市総合運動公園でしかできない指導を行えるのがこの教室の魅力だと思うので、そこを強調すべきだと思います。ただ、このパークに行ったことがない人も数多くいらっしゃると思うので、その人たちの興味関心も引ける PR 方法をお願いしたいです。

○教育長

質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

委員の皆様から何かございませんか。

○教育長

他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、9月29日月曜日、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

○教育長

これをもちまして、令和7年8月第10回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。
ありがとうございました。

午後3時45分 閉会